

令和2年度長野市スタートアップ成長支援事業 実績報告

2021年3月31日

NAGANO スタートアップタウンコンソーシアム

1. 起業や新規事業創出に関心を持つ者の裾野拡大や仲間づくりのためのイベント等の実施

■スタートアップカフェ

全3回のイベントを実施、主に学生等の若年層や、企業で新規事業創出を担う担当者の、起業及び新規事業企画への動機付けを目的とした。またイベント開催内容は全て動画として録画し、将来的にスタートアップ成長支援事業のPRとなるポータルサイトに誘引するためのコンテンツとして活用していくこと目的としている。

●2020年11月28日(土)10:00~12:00 vol.01

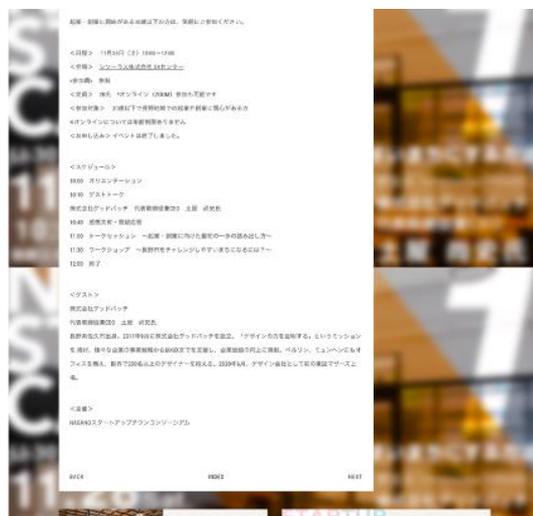
「U-30で考える、長野市をチャレンジしやすいまちにする方法」

ゲスト:株式会社グッドパッチ代表取締役 土屋 尚史様

開催方式:リアル開催+ZOOM ウェビナー

対象者:学生及び社会人若年層

募集方法:NICOLLAP ホームページ、Facebook



募集ページ閲覧者数(公開~3月末まで):287 ユーザー

Facebook アーカイブ動画閲覧者数:502 ユーザー

【開催の目的】

起業家をゲストとして招き、起業・創業体験談により、起業を身近に感じてもらうと共に、起業に対してどのようなサポートが必要か？を参加者との対談により意見を引き出す。

【結果】

参加者:会場参加 7名(大学生、高校生)、ZOOM 参加 20名、ライブ中継 15名

イベントの動画:<https://www.facebook.com/nicollap.jp/videos/1003662856807184/>

ゲスト土屋氏の起業までの体験談、単身渡米しスタートアップのピッチイベントや起業家と出会う場に積極的に足を運んだ体験談をお話頂いた。これから起業を目指す学生に対しては、少々刺激的なストーリーではあったが、とにかく失敗を恐れずにチャレンジすることの価値を説いて頂いた。結果論ではあるが、本イベントに参加した学生が2021年3月に法人登記するに繋がった。

イベント企画及び集客から開催まで時間が取れなかったこともあり、参加者数は少ない状況ではあったが、土屋氏の体験談はインパクトがあり、イベントでの動画は今後、本事業のPR用WEBコンテンツとして貴重な素材になると考える。

●2021年1月7日(水)19:00～21:00 vol.02

「どうして学生のうちに起業したの？～長野で起業した学生たちのぶっちゃけ座談会～」

ゲスト:長野県立大学 グローバルマネジメント学部 学生

開催方式:ZOOM ミーティング

対象者:学生及び社会人若年層

募集方法:NICOLLAP ホームページ、Facebook



【開催の目的】

既に起業している学生3名がゲスト出演し、その体験談を語ってもらうことにより、参加者に対して起業を身近に感じてもらう・さらにゲスト出演している学生の事業認知を広める。

【結果】

参加者：55名（うち大学生22名）

参加者に対して、既に起業にチャレンジしている学生がいることの認知を広められたとともに、ゲスト参加した学生にとっては自らのビジネスプランを一般の方々向けにプレゼンテーションする初めての機会となり、起業に対する自信に繋がったとのコメントあり。

尚、本イベントについては企画段階から学生が関わり、イベントの開催運営にも学生が参画する形となった。来年度事業においても、学生自信がスタートアップ成長支援事業そのものに関わる機会を増やしていくと、学生内で情報が共有され、起業に向けた意欲醸成に繋がるものと考え。

●2021年2月23日(水)12:30~14:00 vol.03

「情報過多の時代に生き残るビジネスとは?」WIRED」日本版創刊編集長に聞く アイデアの作り方

ゲスト:株式会社インフォバーン 代表取締役 CVO 小林 弘人 様

プロフィール:<https://www.kobahen.com/profile/>

対象者:企業の新規事業担当者

開催方式:ZOOM ミーティング

対象者:学生及び社会人若年層

募集方法:NICOLLAP ホームページ、Facebook

The image displays promotional materials for the event. On the left is a large green banner with white and yellow text. The main title is '『WIRED』日本版創刊編集長に聞く アイデアの作り方 STARTUP CAFE Vol.3'. It lists the date as 2021.2.24 WED 12:30-14:00 and the guest as 小林 弘人 (Mr. Hiroshi Kobayashi). Below the banner is a smaller version of the same information. On the right is a vertical flyer with a similar design, featuring a photo of the guest and a list of event details in Japanese. The flyer includes the event title, date, time, and a list of topics to be discussed, such as 'アイデアの作り方' and '成功の秘訣'.

【開催の目的】

グローバルのビジネストレンドを把握しているゲストから、新規事業へのアイデア創出手法のレクチャーを受けると共に、昨今のビジネストレンドを対談形式で伺う。

【結果】

参加者:35名

講師の小林弘人氏は、ベルリン発のテックカンファレンス「TOA ワールド・ショーケース」や長野県白馬村で開催されている「GREEN WORK HAKUBA」等も企画。グローバルでのビジネストレンドを俯瞰的に捉えた視点から、アイデアの作り方についてヒントを頂いた。参加者については、地元の老舗商店経営者や、事業会社新規事業担当者などが参加されており、来年度のイノベーション創出に向けた、地域課題抽出事業への参加対象となり得るメンバーとのコンタクトが取れたと思われる。

また、小林弘人氏との対談形式となるコンテンツは、将来にわたりポータルサイトへの新規ユーザー獲得への貴重なコンテンツになり得る。

■ベンチャー起業家 オンライン対談会

KDDIより長野県立大学学生向けに提供してきた、起業家講座の特別編として一般公開イベントとして開催。他地域でのスタートアップエコシステムの現状を長野にシェアして頂き、今後のスタートアップ成長支援事業の在り方を考える。

The image shows a Zoom event page for "ベンチャー起業家オンライン対談会" (Venture Entrepreneur Online Dialogue) titled "地方における起業と起業家の育成" (Entrepreneurship and Entrepreneur Development in Local Areas). The event is organized by NICOLLOP and features two sessions:

- 第一回 (2021.2.20 SAT 13:40-15:00):** Hosted by 竹井智宏 (Takeshi Takei), CEO of MAKOTO Group Inc.
- 第二回 (2021.2.27 SAT 13:00-12:40):** Hosted by 渋谷博太 (Hirota Shibuya), CEO of Framer Inc.

The page includes a "開催概要" (Event Overview) section with the following details:

- 1月20日 (土) 13時~15時:** 東北から発信する事業創出企業 MAKOTOグループ代表 竹井 智宏さん(46歳)
- 1月27日 (土) 13時~15時:** 横浜スタートアップエコシステムのキーマン フラー株式会社代表 渋谷博太さん(46歳)

The "ゲストのご紹介" (Guest Introduction) section provides background on the speakers:

- 竹井 智宏さん (Takeshi Takei):** 東北大学卒業後経営学修士課程修了。ベンチャーキャピタリストから、現在は起業家を支援し、東北のスタートアップエコシステムを育てるべく「東北の起業家」発起者の役割を担い、東北のスタートアップエコシステムの発展に貢献。東北大学の起業家育成にも関与。地方のベンチャー育成をどうにかしたいと考えています。
- 渋谷 博太さん (Hirota Shibuya):** フラー株式会社 代表取締役社長 1994年生まれ。長崎県生まれ。筑波大学卒業後フリーに転入。その後、高専教員時代の経験とフリーを軸に、東北、千葉圏での「地方起業」を継続的に関与及び発信活動として、東洋水産はじきを中心とした地方産業の活性化を推進する事業を中心に展開。前半は経営者へのコンサル。後半はベンチャー投資の現場に参画。現地に赴き高専教員時代に習った、教員を中心とした事業創出。ベンチャー創出に注力している。この新しい起業家創出環境におけるベンチャーについて関心しています。

●第一回 2021年2月20日(土)13:00～15:00

「地方における起業と起業家の育成」

ゲスト MAKOTO グループ代表 竹井 智宏様

開催方式:ZOOM ウェビナー

対象者:学生及びベンチャー企業家、支援者

募集方法:NICOLLAP ホームページ、Facebook

参加者:38名

アーカイブ動画:<https://youtu.be/D-1bQxf88tQ>

●第二回 2021年2月27日(土)10:00～12:00

ゲスト フラー株式会社 代表取締役会長 渋谷 修太

開催方式:ZOOM ウェビナー

対象者:学生及びベンチャー企業家、支援者

募集方法:NICOLLAP ホームページ、Facebook

参加者:35名

アーカイブ動画:<https://youtu.be/2ncal6pzak4>

■ 起業促進イベント

未来に、仲間に、リンクする。 NICOLLOP NEWS 2021.03.12

XEN 始動

長野市スタートアップ成長支援事業 PR イベント

3/20 完全オンライン 主催：長野市
2021 10:00～12:00 運営：NAGANO スタートアップタウンコンソーシアム

長野市スタートアップ成長支援事業 PR イベント開催のお知らせ

【プログラム】

- 10:00 開会 〇挨拶
- 第1部 長野市スタートアップ成長支援事業の取組について
 - 長野市スタートアップ成長支援事業とは（長野市）
 - NAGANOスタートアップコンソーシアムのご紹介
 - 本事業でKDDIの取組
 - NICOLLAPが提供するイノベーション支援とは
 - 長野市、門前原町の取組について
- 第2部 札幌市とDRIVEの取組について
 - 札幌市の取組について
 - DRIVEで取組んでいること
- 第3部 「地方」でスタートアップの可能性を探るディスカッション
- 第4部 長野市スタートアップ支援事業推進委員会報告
 - Money Goレポート
- 12:00 閉会

【ご本人にお申し込み】

スタートアップ成長支援事業に開催を希望する方
起業家、ベンチャーキャピタル、エンジェル投資家
オープンイノベーションを推進の企業様
活動する方々に興味をお持ちの方

【お申し込み】

以下のリンク先よりお申し込み、ご登録お申し込みください。
<https://zenki.dcooconnect.com/events/119329>
問合せ
e-mail:info@zenki.com/workshop (追加C/WEBK)

【日時】

3月20日 10:00-12:00

オンラインイベント

視聴方法 ウェビナー(Facebook LIVE 配信) アーカイブの動画配信

【登壇者】(敬称略)

長野市商工観光部商工労働課 大山 俊宏

NAGANO スタートアップタウンコンソーシアム

KDDI 株式会社 理事 経営戦略本部副本部長 KDDI 株式会社 松野 茂樹

一般社団法人長野 IT コラボレーションプラットフォーム 理事 荒井 雄彦

一般社団法人長野 IT コラボレーションプラットフォーム 理事 広瀬氏 毅

株式会社 MoneyGo 出澤 寛崇(本年度伴走支援参加者)

STARTUP CITY SAPPORO (札幌市)

札幌市経済観光局産業振興部 IT・イノベーション課スタートアップ推進担当係 係長 阿部正明

STARTUP CITY SAPPORO 事務局 株式会社 D2Garage 藤間恭平

【概要】

—第1部—

長野市のスタートアップ成長支援事業の取り組みについて

実績報告と自己紹介を兼ねて、これまでの取り組み、今後のビジョンなどについて本事業を推進する関係者より、それぞれの担当領域を中心にプレゼンテーションを行った。

・長野市より ご挨拶、本事業のビジョンについて

・NAGNAO スタートアップタウンコンソーシアムより

NICOLLAP が目指す長野市像と本事業の全体像について(NICOLLAP 荒井)
KDDI の他地域での取り組みと長野市での取り組み、本事業での役割など(KDDI 松野)

長野市、門前界限 or 中心市街地について(NICOLLAP 広瀬)

・株式会社 Money Go 出澤氏より

伴走支援事業の成果発表および、参加しての感想などを発表

—第2部—

札幌市,DRIVE の取り組み

・設立の経緯、目的、ビジョン、関係者との協力関係など

・札幌市,DRIVE でいま起こっていること

・今後の将来像

—第3部—

長野市&札幌市 パネルディスカッション

・地方での起業,スタートアップの可能性

・スモールビジネスとスタートアップの境界と支援方法

・地方関連系の可能性

・将来目指す姿

などについて登壇者全員にてディスカッションを行った。

【目的・狙い】

1)先進的でイノベティブな街を目指す ZIT 構想の推進を図るために、2020 年からスタートした、「長野市スタートアップ成長支援業務」(XEN)の内容について 2020 年度の実績報告を兼ねて、広く周知すること

2)これからの長野市及び、NAGANO スタートアップコンソーシアムが目指す長野の姿について札幌市の事例を参考に、より具体的にイメージしてもらう機会を作ること

【結果】

1)参加状況について

事前登録 41 名

オンライン参加 21 名

ライブ配信を予定していたが、当日トラブルで配信することができなかった。

事前登録者などから、録画視聴の希望や問い合わせがあるので、アーカイブ視聴ができるようになったら案内を出すこととしている。

2)イベントについて

今年度はプロジェクトおよび、各イベント単体での PR 告知にて、それぞれの取り組みを市民へ伝えることはできたが、「長野市スタートアップ成長支援業務」の取り組み全体については市民への認知度がまだ低い状況である。今回のイベントでは事業の全体像を説明することと、「XEN」というわかりやすいキーワードで認知してもらうこと、そして「XEN」のもとで各活動が一つのビジョンのもとに行われていることを伝えることができた。

また先行して取り組んでいる札幌市の具体的な内容より、今後の将来像が具体的にイメージできる内容となった。

【次年度事業に向けた課題】

受託運営者である NAGNAO スタートアップタウンコンソーシアムを構成するものも多数いるために、それぞれのプロジェクトやイベントに対して統一のイメージを持つことが難しかったと思う。今後は「XEN」を全面に PR して、事業内容をわかりやすくイメージしやすい姿で市民へ伝えていくことが重要と考える。

今回のイベントでは事業の全体像やビジョンを伝えることができたが、参加者より具体的には何が起きるのか？長野市はどうなるのか？といった意見もイベント後に寄せられた。本事業を通して市民に何が起るのかをより具体的に表現していくことも課題と考える。

2. ニーズとシーズが出会う場づくり

■コンセプト開発

本事業のターゲットするところが、学生なども含めた若年層でもあり、地域課題をニーズとして情報収集するためには、地域の住民、商店等々、幅広く本事業に関与して頂く必要がある。そのために、本事業の場として中心となる善光寺門前界隈で何をしようとしているのか？この場がどのような場なのか？それをあらゆるステークホルダーに伝えるべく、抽象度が高いキーワード、ミッションステートメントを開発し、今後マーケティングコミュニケーションの軸として活用していく。

プロジェクトネーム: XEN(ゼン)

キャッチコピー: 未来に、仲間に、リンクする。

ミッションステートメント:

ふるくから、多様な価値観が交わり発展してきた善光寺エリア。

都心からのアクセスに恵まれたこの街を舞台に、

あたらしく、世界がおどろくイノベーションを生み出したい。

そんな想いから動き出したプロジェクトが、「XEN(ゼン)」です。

年齢、性、国籍、思想などの違いを超えて

夢や理想に挑戦したいと願う人を受け入れ、

地域との関係構築や、起業、新規事業開発をサポート。

さまざまなご縁を育みながら、一人ひとりの可能性を大きく広げます。

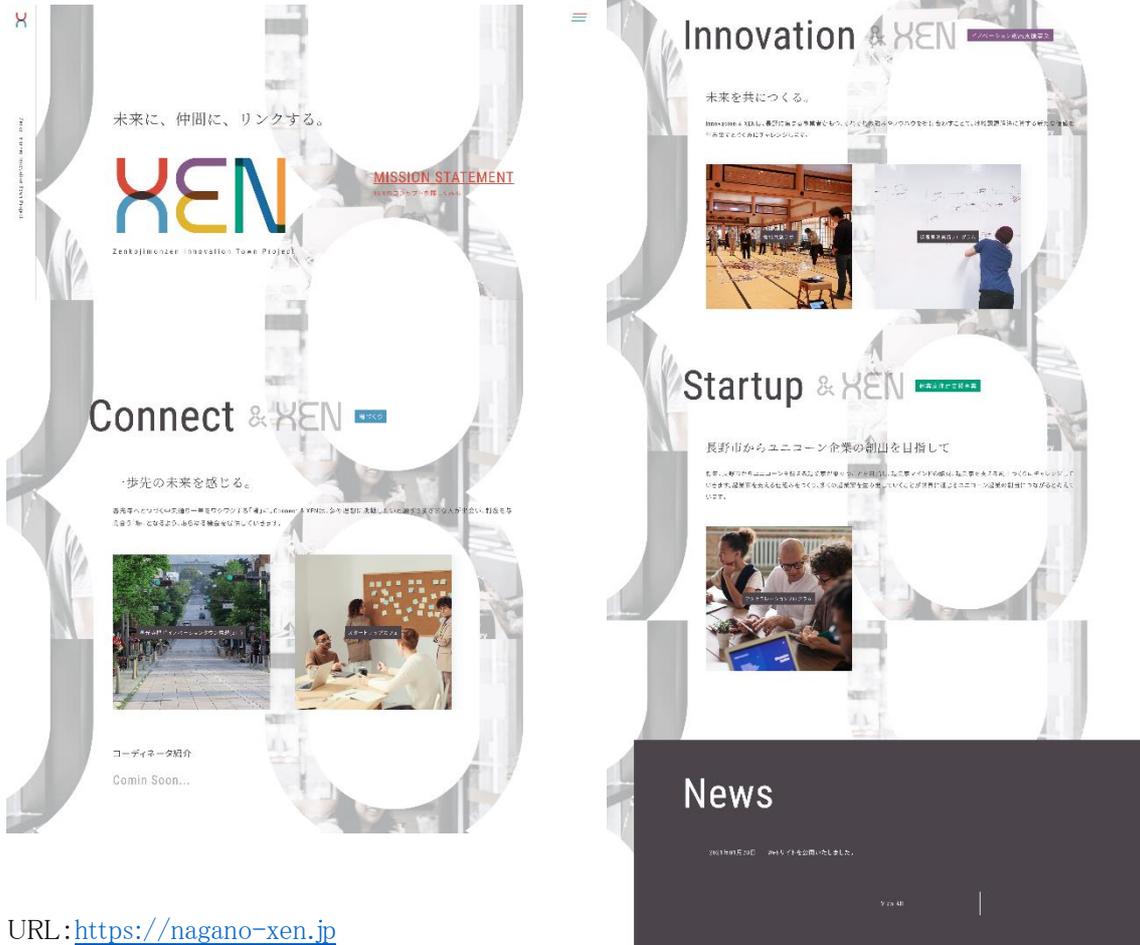
ワクワクできる未来と、個性豊かな仲間と、あなたがリンクする。

それが、多彩なイノベーションへとつながる。

「XEN」は、人の想いと、社会を、全力で前進させます。

■国内外のベンチャー起業への情報発信媒体となるポータルサイトの構築

今後の、本事業における情報発信基盤となるポータルサイトを構築。各種開催したイベントのアーカイブや起業促進に繋がるコンテンツを随時掲載していく。また、本ポータルサイトにはソーシャルログイン機能を実装し、本事業に関心がある方々とインタラクティブなコミュニケーションを図るための基盤ともなり得る。



URL: <https://nagano-xen.jp>

【掲載するコンテンツ】

- XEN ミッションステートメント及び事業概要

- Connect & XEN 場づくり

 - ―善光寺門前イノベーションタウン構想

 - ―スタートアップカフェ

 - Vol.01 動画掲載 ※会員登録者限定

 - Vol.02 記事コンテンツ掲載 及び 学生起業ストーリー記事×3 本掲載

 - Vol.03 動画掲載 ※会員登録者限定

 - ―女性起業家 PR コンテンツ プロモーション動画掲載 × 6 本

 - ―コーディネータ紹介(予定)

- Innovation & XEN

 - ―地域共創ラボ

 - 地域共創ラボ 2020 レポート記事 × 5 本掲載

 - ―課題解決プログラム

 - システム×デザイン思考 実践講座 アーカイブ動画掲載 ※会員登録者限定

- Startup & XEN

 - ―伴走支援プログラム開催概要

 - ―伴走支援プログラム対象者インタビュー記事

 - ―伴走支援プログラム公募告知及び

※尚、2021 年度以降は開催するイベントアーカイブ等を随時掲載

※また、プロモーション用コンテンツ(WEB サイトへの集客用コンテンツ)は企画予定

■善光寺門前界限に起業家を誘致する為の場づくりの検討

1. 地域課題に関する情報収集、課題定義を目的に善光寺門前界限の系譜を知るためのイベントを開催



日時:1月27日(水)18:30～19:30

開催方式:ZOOM ウェビナー

タイトル:善光寺門前が可能性の地であり続ける理由

ゲスト:長野郷土史研究家 小林竜太郎氏

参加者:40名

2. 善光寺門前界限に拠点を持つ事業者が連携するための課題抽出を目的とした検討会の実施
第一回

2021年2月19日(金)18:30～20:00

参加者:7社

第二回

2021年3月4日(木)18:30～20:00

参加者:6社

■学生起業のサポート(学生ラボ)

伴走支援応募者のうち伴走支援対象に選定されなかった学生を対象に、善光寺門前の空き店舗を活用した起業を促進するためのサポートを実施。店舗スペースを貸し出すとともに、事業計画策定、店舗設計、店舗オープンまでの段取りを支援した。

対象:長野県立大学 3年生

1月18日(月) 事業構想の共有 @ZOOMミーティング

1月19日(火) 店舗デザイン打ち合わせ

1月27日(水) 事業構想メンタリング

2月15日(月) 事業構想メンタリング

2月27日(日) ODDO coffee プレオープン

4月1日(木) ODDO coffee 正式オープン

スモールビジネスではあるが、学生起業を今後促進していくためのロールモデルになると考える。学生にはスタートアップを目指す以前に、「起業」へのチャレンジ意欲をかき立てることが重要であると認識しており、そのためには「出来ることから始めてみる」といったマインド醸成が必要。そのための良い事例コンテンツとなり得る

【結果】

新規事業創出 概要

食をテーマとした参加企業のチームが結成され、参加企業合同の商品開発を実施。開発した商品を、3/5 に長野朝日放送(abn) 駅前テラスカフェで試食会を行い、商品の販売に向け継続活動中。

(総括)

- ・イベントとイベント間の学びのサポートを継続実施したことによりマインドセットの習得から人の変容が実現できた。
- ・組織を超えた共通ビジョンを共有することで、共創を実施していく意識を醸成し、共創による商品開発まで進んだ。
- ・次年度も共創ラボの活動を、有償でも継続参加したいという企業も出てきている状況で、ラボの活動に対する意義を裏付ける結果が得られた。

(次年度に向けた課題)

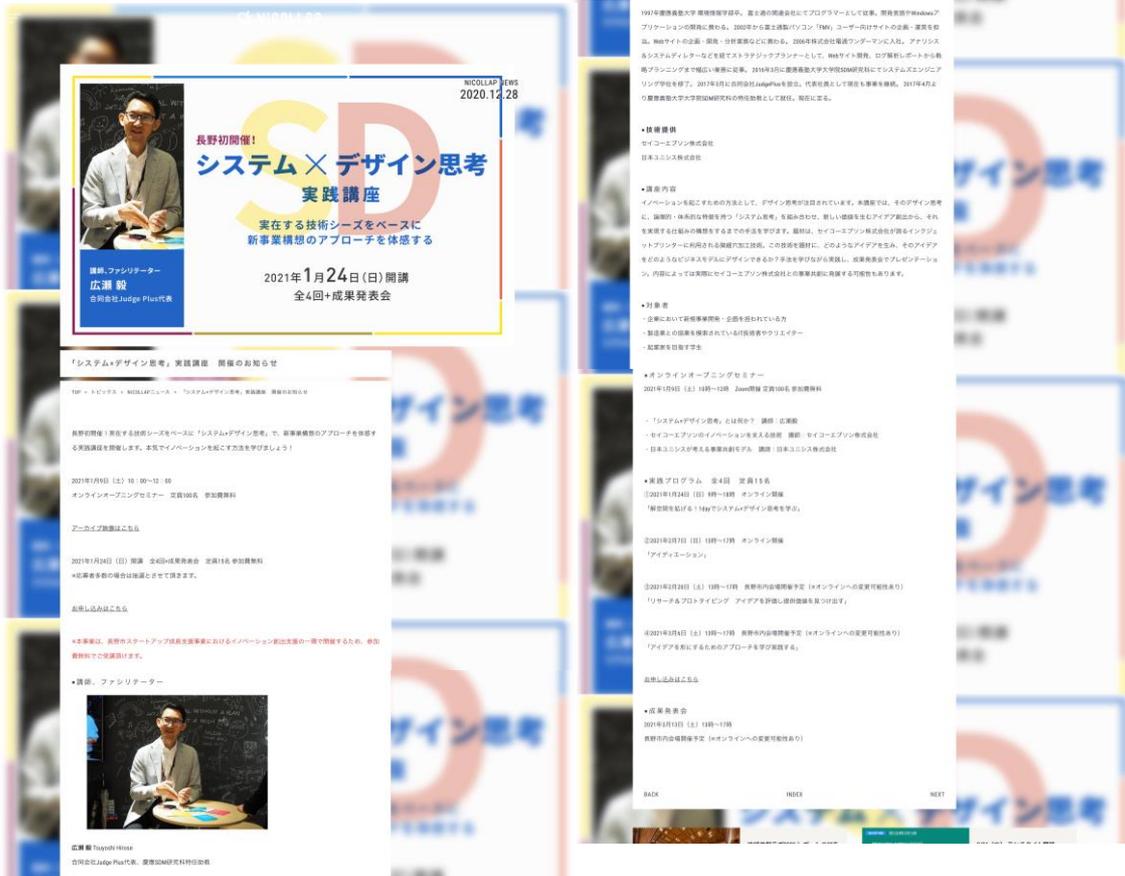
次年度については、本事業予算とは別で運営を企画している(NICOLLAPにて自走する計画)。今年度の活動は、地域社会に対しての価値を提供する事業モデルまで磨き上げられておらず、今年度参加事業者の事業をフォローアップする取り組みとして継続して活動をしていく必要がある。

また、イノベーション創出プログラムとしては、既存事業者のコラボモデルだけではなく、県外のスタートアップ事業者を長野市に呼び込むことに繋がるプログラム設計を行っていくことで、本事業の趣旨に合致していくものとする。次年度事業については、長野市内事業者がもつ事業リソースと、全国各地のスタートアップ事業者のソリューションがコラボレーションすることで、新規事業を創出するモデルを検討する。

※企業立地支援事業のPRにも繋がる内容にする。

●課題解決プログラム

長野県内の事業者より事業課題を提示して頂き、その課題解決プロセスを実践講座形式で提供し、新たな事業を産み出すプロセスを身につけて頂く講座。



1 「システム×デザイン思考」実践講座

セイコーエプソン社の微細穴加工技術を応用したサービスを、システム思考×デザイン思考を通して企画する講座。

1月9日(土)10時～12時 オープニングセミナー 参加者:40名

【実践講座】定員15名

1月24日(日)9時～18時

2月7日(日)13時～17時

2月20日(土)13時～17時

3月6日(土)13時～17時

【結果】

15名参加し、3チームで講座を展開し、最終的にセイコーエプソン社に対して各チームが企画したプロダクトアイデアを提案した。本プログラムについては、参加者自身が新規事業アイデアを創出するフローを体験することに意義がある。また本講座の一連の流れについては動画アーカイブを残しており、別途編集の上ポータルサイト上で公開する予定である。

2 マーケティングリサーチ実践講座

株式会社サンクゼールの新商品について、消費者から直接得られる知見をもとに商品開発を実践し、新商品開発のノウハウを学ぶ講座



2月6日(木)オープニングセミナー 参加者:50名

【実践講座】

3月21日(日)開催 参加者:12名

【結果】

本事業においては、21日(日)開催の実践講座に向けて、長野県立大学 グローバルマネジメント学部 2年生のメンバーに、サンクゼール(株)の顧客向けにアンケートリサーチを実践してもらい、その分析結果をもとに商品開発ワークショップを開催した。

※長野県立大学の学生が運営する企業 合同会社 sigmov <https://sigmov-llc.com/>

商品開発ワークショップでは、12名の女性陣が3チームに分かれ、サンクゼール(株)に今秋にリリースする、ジャムの新商品を提案。参加者にとっては、リサーチデータをインプットとした商品開発を体験することに繋がり、サンクゼール(株)にとっては、消費者イノベーション(消費者とともに商品開発をする)の実証実験となった。今回の提案をベースに実際に商品開発を検討する予定。

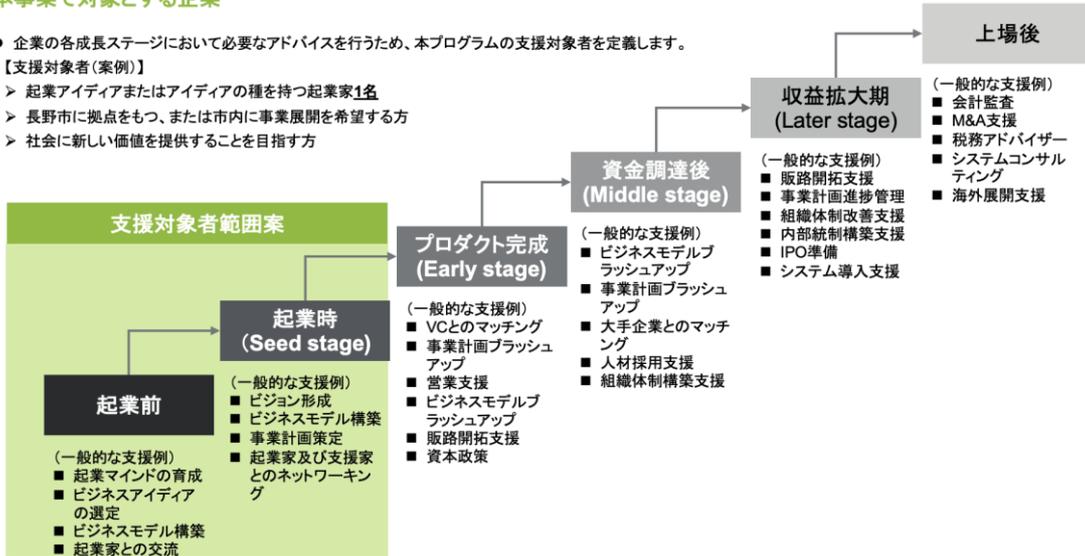
また、合同会社 sigmov の事業実績として、サンクゼール(株)の顧客リサーチを行い新商品開発をサポートした。これを事例として長野県内事業者からの業務受託及び、学生と事業者とのコラボによる事業開発モデルを企画する予定。

事業者のイノベーション創出に限らず、学生の事業開発への参画から、起業マインドを醸成する仕組みに繋がると考える。

4. 起業家の成長を加速するための伴走支援

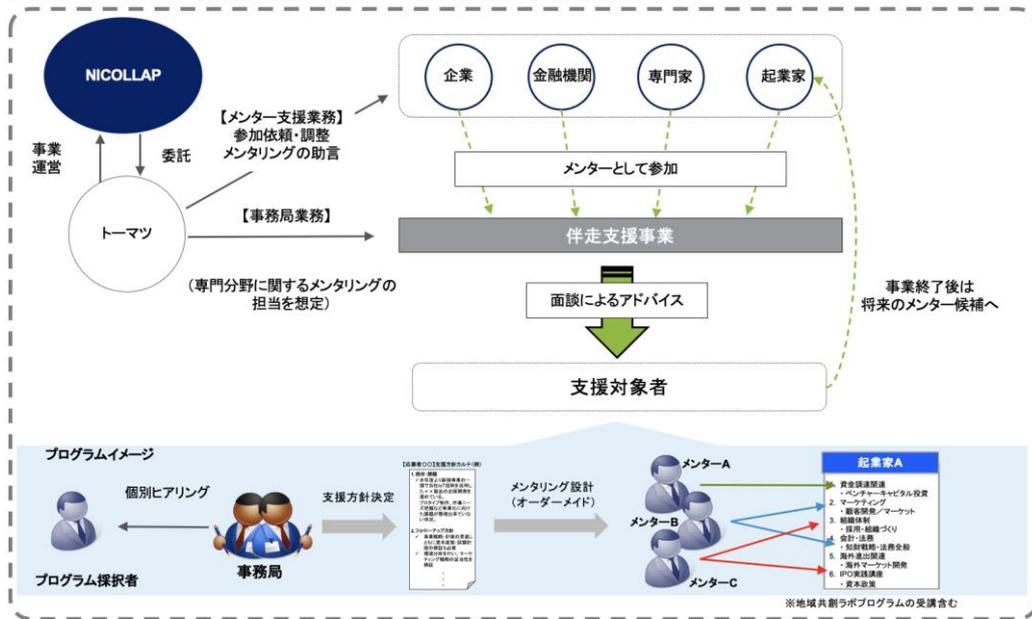
本事業で対象とする企業

- 企業の各成長ステージにおいて必要なアドバイスを行うため、本プログラムの支援対象者を定義します。
【支援対象者(案例)】
- > 起業アイデアまたはアイデアの種を持つ起業家1名
- > 長野市に拠点をもつ、または市内に事業展開を希望する方
- > 社会に新しい価値を提供することを目指す方



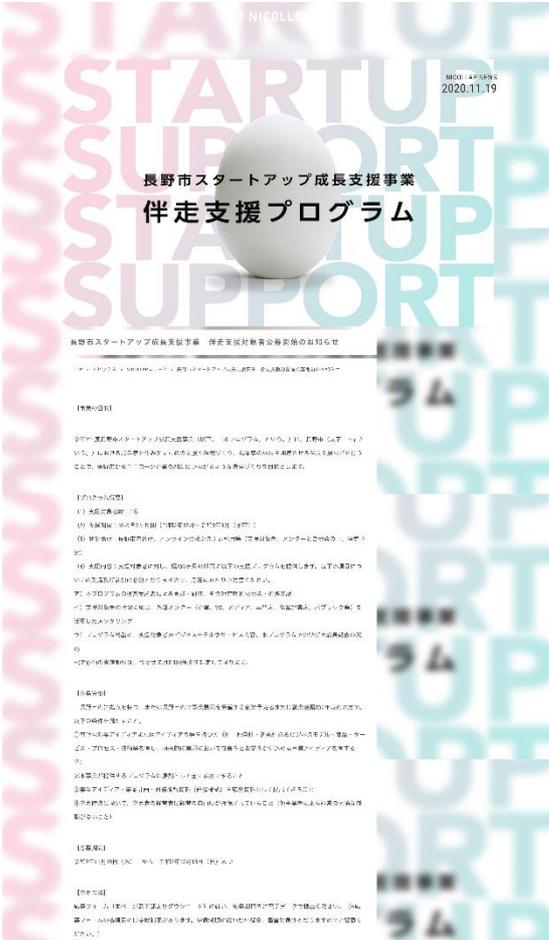
伴走支援事業のスキーム

- 本事業は、メンターからの支援(個別面談によるアドバイスの提供)により実施されます



■伴走支援対象者の公募

2020年11月18日よりNICOLLAPホームページより公募開始



**長野市スタートアップ成長支援事業
伴走支援プログラム**

長野市スタートアップ成長支援事業（伴走支援対象者公募開始のお知らせ）

【募集の目的】

【応募の条件】

【応募の期間】

【応募の方法】

【お問い合わせ】

【お問い合わせ先】

【応募の条件】

【応募の期間】

【応募の方法】

【お問い合わせ】

【結果】

5名の応募

書類審査、面談（長野県立大学 安藤理事長、KDDI 松野氏、NICOLLAP 荒井市、トーマツ森山氏、長野市商工労働課 大山氏）を経て、出沢 寛崇氏に対象者が決定した。

選定の主な理由としては、現在会社員でいながら、企業への強い思いと、ビジネスアイデアを持っている。ただし、ビジネスアイデア自体は、まだアイデア段階であり事業モデルとしては甘い状態であった点にある。スタートアップ成長支援事業の趣旨として、起業意欲を醸成し起業する人を増やしていくということから、アイデアを昇華するプロセスへの支援モデルをつくることに意義があると認識。

(次年度への課題)

応募者 5 名は支援対象者選定の母数としては少ない。本年度の事業としては、公募期間が短く、公募におけるプロモーションを行うことが出来なかった。伴走支援プログラム自体の魅力を広く伝える為に、広報媒体におけるプロモーション活動及び公募を告知するイベントなどによる情報発信を経て応募者を増やす施策を展開する必要があると認識。

■ 伴走支援の実施

12 月～3 月にかけて、事業課題の確認、アイデアのブラッシュアップ(ターゲット設置、市場・競合調査、サービス内容の具体化など)、関係事業者等へのヒアリングなどの支援を実施。

【結果】

2021 年 2 月 3 日 株式会社 MoneyGO 設立に至る

今回、長野市伴走支援プログラムとしては初回のプログラムであったが、スタートアップのステージとしてアイデア段階から伴走する取組そのものは、長野県や他の市町村の取組と比べ、特徴的なものではあったのかと考える。ただし、アイデア段階であるが故に、スタートアップ成長支援事業の趣旨として、スタートアップとしての成長路線に乗せるビジネスモデルに昇華させるには、ほど遠い内容になった。長野市におけるスタートアップ創出への活動について過去の蓄積が少ない中で、母数そのものが小さいと言う状況でもあるが、先述の通り公募段階におけるプロモーション活動を強化した上で、伴走支援選定対象を増やし、今後のロールモデルとなるアイデアを持つ起業家の卵を発掘していく活動を強化していく必要がある。また、伴走支援としては、都心や他府県から長野市へ進出する起業家もターゲットにすべく、事業創出シーズとなる地域課題や長野市内の既存事業者のニーズ等の情報発信の強化や、移住促進、企業立地支援施策と組み合わせて長野市で事業を行うことの魅力を共に伝えていく活動を行っていくことを検討する。

以上